



家庭や地域と共に “**A** **I** が飛び交う学び場” をすべての子どもたちに

はばたき

NO.21

— 2023年度 横手市立横手北小学校 学校報 —

令和5年 9月 4日発行



本はステキがいっぱい!



図書ラウンジでいろいろなジャンルの本にふれてみよう

『図書館などで借りて本を読むことのよいところは、つまらないと思ったら途中でやめることができるので、たくさんの本に触れて、自分の「好き」が見付けられること』という話を聞いたことがあります。確かに買った本は、途中でつまらないと思っても、最後まで我慢して読もうとします（それが続くと、本が嫌いになってしまうときもありますね）。



中休みや昼休みに子どもたちが本を借りにやってくる図書ラウンジには、子どもたちが借りた本の数が分かる掲示物があります。今年度は、学年縦割りの色別ごとの冊数が分かるような掲示です（左下写真）。数が分かる掲示は、形の違いはありますが、どこの学校にも掲示されています。それに、本校の図書ラウンジには今年度から、どんなジャンルの本が借りられているかが分かる掲示も加わりました（右下写真）。子どもたちに、「たくさん」に加えて、「いろいろな」本に触れてほしいとの思いからです。これまでの結果を見てみると、「文学」が約半分を占め、続いて「自然科学」の本が多いようです。辞典や図鑑などの「調べるための本」はほとんど借りられていませんでした。授業で「もっと調べたいな」「もっと知りたいな」と思うことを見つけ、自分から調べに行く場所として、図書ラウンジを利用するのも楽しいと思います（〇〇のことを調べたいのですが、本はありますか」と、学校司書のEさんに聞くと、本を紹介してくれるそうですよ）。

図書ラウンジには、その時期に合わせたテーマでいろいろなジャンルの本を紹介してくれているコーナーもあります（今は「お月見」がテーマです）。子どもたちには、図書ラウンジを利用して「たくさん」「いろいろな」本を開いて、自分の「好き」を見付けてほしいと思っています（最初はつまなくても、途中から夢中になってしまう本もあります。ときには、根気強く読み続けるのも、本の楽しみかもしれませんね）。

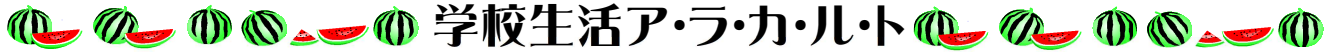


借りた本の数に併せて、雪に見立てた白いシールが貼られていきます。

冬には、どの色別グループも立派なかまくらが完成するといいですね。



いろいろなジャンルに興味をもってもらえるように、先生たちも図書ラウンジの本を活用した授業をこれまで以上に行っていきたいと思っています。



暑さを避けて、6年生「小学校最後のプール授業」



先週お知らせした通り、コロナ感染予防のため今年度のプール授業は中止とさせていただきましたが、その直前に6年生は時間割を変更し、暑さを避けて最後のプール授業を行いました。プールがある中学校や高校はあまりないことから、生涯最後のプール授業かもしれません。6年生は、これから「小学校最後の〇〇」が多くあります。一つ一つが思い出になるよう、各行事に取り組んでいってほしいと思います。

防災の日、救給カレーを使った「防災給食」

給食センターからのお知らせにありましたように、防災の日の9月1日(金)の給食は、ご飯とカレーが入ったパックをメインとした防災給食でした。子どもたちは、「思っていたよりおいしい」「他にどんな防災食があるのかな」などの感想をもちながら食べていました。ご家庭でもお子さんに感想を聞いてみてください。併せて、この機会に災害時の避難場所などについても確認していただけたらと思います。



工作・習字・自由研究…夏休み作品展は、力作ぞろい



夏休み明け初日、たくさん子どもたちが「これ作ってきたよ」と自慢げに夏休み中に作ってきた作品を見せてくれました。先週一週間、各階のフロアにその作品を展示し、子どもたちで見合いました。木工や手芸、自由研究など時間をかけて取り組んだと思われる作品が多く、見応えがありました。先週末、市の理科作品展に出品するものなどを除き、お家に持ち帰ったと思います。是非、お子さんの頑張りを褒めてください。

3年生「キャベツ収穫」…猛暑の影響がここにも！

8月29日(火)、3年生が6月に苗植えをしたキャベツの収穫作業を行うため、金沢地区の畑に出かけました。今年のキャベツは、猛暑と雨不足のため、枯れてしまっていたり、手のひらサイズまでしか育っていなかったりするものが多く、子どもたちは今年の夏の暑さをここでも実感したようです。子どもたちの外での活動も短時間で終え、金沢孔雀館内での活動をメインにしました。猛暑の影響をいろんなところで感じます。



「芸術鑑賞会」は後日開催できそうです

京都フィルハーモニー室内合奏団による「芸術鑑賞会」は、コロナ感染予防のため、当初予定していた9月4日(月)には行うことができないと判断しました。国の文化庁の事業のため、延期は難しく中止にせざるを得ないと思っていましたが、合奏団の方が文化庁にお願いして下さり、特別に後日、来校してくれることになりました。有り難いことですね。合奏団の方々も子どもたちの歌に合わせ演奏するのを楽しみにしているそうです。時間を見つけて、「世界中の子どもたちが」の練習を続け、楽しい「芸術鑑賞会」にしていきたいと思っています。